修了生インタビュー　犬飼龍馬さん（2022 年度修了生）

📝 今回は、伊田副研究科長がインタビューをおこないました。

――本研究科を修了されたのはいつですか？

犬飼：2022 年度に修了いたしました。修了後は、国語教育の実践と研究を両立させながら活動を続けています。

――ご著書について教えていただけますか？

犬飼：単著として『中学校・高等学校国語科「読解方略」習得ワーク＆指導アイデア』（明治図書, 2022 年）を刊行しました。生徒の読解力を育成するために、実践的なワークや指導の工夫を盛り込んでいます。
　また、共著では『小学校・中学校国語科 ICT×書くこと指導コンプリートガイド』（2022 年）、『学びの質を高める！ICT で変える国語授業２』（2021 年）、『学びの質を高める！ICT で変える国語授業』（2019 年）に携わりました。ICT を活用した国語科授業の新しい展開について執筆しています。

――これまでの活動の中で特に印象的なことはありますか？

犬飼：2019 年に、これまでの教育実践を評価いただき、読売教育賞「優秀賞」を受賞しました。この経験は大きな励みになりました。

――現在はどのような活動をされていますか？

犬飼：京都の町屋やオンラインで読書会を主催しています。学び合いの場を大切にし、参加者とともに考えを深める活動を続けています。今後も現場に根ざした実践を重ね、研究との架橋を意識して取り組んでいきたいと思います。

本研究科で培われた学びを礎に、教育現場と研究をつなぐ実践を積み重ねておられる犬飼先生の歩みは、私たちに大きな示唆を与えてくれます。今後のさらなるご活躍に期待するとともに、本研究科に学ぶ者にとっての大きな励みとなることでしょう。